

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理担当常務取締役 (氏名) 河村 桂作
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3888-5117

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,668	7.7	1,351	△10.2	1,388	3.7	868	△52.0
25年3月期第3四半期	28,463	△4.9	1,503	△21.2	1,338	△17.6	1,810	18.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,320百万円 (△36.1%) 25年3月期第3四半期 2,066百万円 (2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	73.92	—
25年3月期第3四半期	160.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	62,508	23,126	36.2
25年3月期	60,331	20,222	32.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 22,617百万円 25年3月期 19,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	6.5	2,000	5.1	1,700	△0.5	900	△30.4	75.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,100,000 株	25年3月期	12,000,000 株
26年3月期3Q	447,192 株	25年3月期	719,622 株
26年3月期3Q	11,752,868 株	25年3月期3Q	11,281,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成25年12月24日を払込期日とする一般募集による新株式発行により、普通株式2,100,000株を発行しております。平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、上記増資による2,100,000株及び平成26年1月21日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による普通株式345,000株を加え、当該増資を考慮した金額を記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間に於ける我が国経済は、積極的な経済・金融政策による円安、株高の傾向が続き、さらには企業の設備投資も上向くなど全体として緩やかな景気回復が見られる一方で、円安による輸入原材料価格やエネルギー価格の高騰が特に内需産業の収益を圧迫しております。また、消費税増税による景気減速の懸念、新興国の政治不安や経済の下振れ懸念などもあり、国内景気の先行きは不透明感を拭いきれない状況でありました。

このような経済情勢下において、当第3四半期連結累計期間の売上高は、コラーゲン・ケーシング、有機穀物、自動車ハンドル用革、建材などが好調に推移し、前年同四半期に比べ、2,205百万円増加し、30,668百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

一方で、原料相場の高騰に加え、円安による輸入コスト、エネルギーコストの上昇などに歯止めがかからず、売上総利益は、微減（同0.6%減）となりました。

営業利益は、人件費、販促費、研究開発費など販管費が109百万円増加したことにより、1,351百万円（同10.2%減）となりましたが、経常利益は、支払利息など営業外損失が143百万円減少したことなどにより、1,388百万円（同3.7%増）となりました。

また、固定資産売却益など特別利益が1,663百万円減少したことにより、税金費用も590百万円減少した結果、四半期純利益は、941百万円減少し、868百万円（同52.0%減）となりました。

なお、当社は、平成25年12月6日開催の取締役会において、中長期にわたるコラーゲン・ケーシングの売上高伸張とともに、一層の事業拡大と安定化を図るために、コラーゲン・ケーシング製造設備への投資を実施すること、また、財務基盤の健全化を考慮して本投資の一部資金を公募増資により調達することを決議し、平成25年12月24日1,554百万円の公募増資を実施致しました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシングの売上高は、原料、燃料価格の高騰などによる製造コストの上昇があった一方で、国内販売は世界的な天然羊腸の不足、新製品の投入などを背景に、出荷量、売上金額ともに伸張しました。また、輸出販売は、生産の一部を国内向けに振り替えるなど調整を行ったため、出荷量は減少したものの、価格改訂や輸出為替の影響などにより売上金額は増加しました。

この結果、売上高は、7,678百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益は、1,776百万円（同22.6%増）となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン、ペプタイド原料については、原料価格の高止まりに加え、円安によるコスト増が見られ収益を圧迫しており、販売価格への転嫁を図っているものの、未だ浸透しておらず厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は、5,483百万円（同0.4%減）、営業利益は、175百万円（同68.8%減）となりました。

③ 化粧品関連事業

コラーゲン化粧品の売上高は、コラーゲン由来の化粧品市場や健康食品市場の新規参入も含め競争は激化しており、市場には更なる多様化へのニーズが拡大しつつあります。このような中、高品質のコラーゲン化粧品や健康食品に特化した商品揃えで、新規顧客の獲得、拡販に注力してまいりましたが、厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は、2,964百万円（同10.7%減）、営業利益は、30百万円（同86.3%減）となりました。

④ 皮革関連事業

自動車ハンドル用革の売上高は、自動車関連産業の回復により順調に推移しました。また、靴用革の売上高は、紳士向けが苦戦したものの、婦人向けは新規顧客を獲得するなど、売上が伸張しました。

この結果、売上高は、7,733百万円（同7.0%増）、営業利益は、157百万円（同52.9%増）となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

賃貸・不動産部門は、再開発を進めている東京都足立区及び大阪市浪速区の土地で引き続き暫定事業として賃貸事業を継続しておりますが、平成25年1月より三菱地所株式会社への賃貸を開始したことにより、売上高、収益面ともに増加しました。

この結果、売上高は、338百万円(同21.9%増)、営業利益は、189百万円(同66.5%増)となりました。

⑥ 食品その他事業

イタリア食材、iPS細胞関連、リンカー、除染用圧縮袋を含む化成品は堅調に推移しており、特に、輸入建材は需要の増加に伴い、また有機穀物は、年初来の穀物相場高騰による買い控えの反動により売上を大きく伸ばしております。

この結果、売上高は、6,470百万円(同18.9%増)、営業利益は、242百万円(同7.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、62,508百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,176百万円の増加しました。

① 資産の部

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が1,189百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比べ1,109百万円増加し、20,577百万円となりました。

固定資産は、テクノセンターの耐震補強工事や建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が717百万円増加しました。また、投資有価証券の評価替えなどにより、投資その他の資産が363百万円増加しました。これにより、前連結会計年度末と比べて1,075百万円増加し、41,904百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、未払法人税等、賞与引当金が967百万円減少しましたが、設備関係支払手形などの増加により、その他流動負債は581百万円増加しました。これにより、前連結会計年度末と比べ350百万円減少し、19,582百万円となりました。

固定負債は、社債、長期借入金、長期未払金などが減少したことにより、前連結会計年度末と比べ376百万円減少し、19,799百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、一般募集による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ777百万円増加したほか、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定などの増加により、前連結会計年度末と比べ2,904百万円増加し、23,126百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月6日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,275	5,114
受取手形及び売掛金	7,857	8,208
商品及び製品	4,949	4,522
仕掛品	518	500
原材料及び貯蔵品	864	1,272
未収還付法人税等	1	96
未収消費税等	125	89
繰延税金資産	409	268
その他	526	565
貸倒引当金	△60	△61
流動資産合計	19,468	20,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,088	7,250
機械装置及び運搬具(純額)	622	775
土地	22,689	22,689
リース資産(純額)	188	145
建設仮勘定	5,116	5,567
その他(純額)	138	131
有形固定資産合計	35,843	36,560
無形固定資産		
リース資産	49	31
その他	158	171
無形固定資産合計	207	202
投資その他の資産		
投資有価証券	4,263	4,555
長期貸付金	280	240
繰延税金資産	9	140
破産更生債権等	1,447	1,426
その他	402	338
投資損失引当金	△53	—
貸倒引当金	△1,571	△1,560
投資その他の資産合計	4,777	5,140
固定資産合計	40,828	41,904
繰延資産	34	26
資産合計	60,331	62,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,250	8,186
短期借入金	8,295	8,439
1年内償還予定の社債	470	470
リース債務	82	61
未払法人税等	883	109
未払消費税等	56	52
繰延税金負債	33	43
賞与引当金	412	218
役員賞与引当金	57	27
その他	1,391	1,972
流動負債合計	19,933	19,582
固定負債		
社債	1,440	1,155
長期借入金	8,668	8,621
長期未払金	1,845	1,786
リース債務	168	127
繰延税金負債	763	911
再評価に係る繰延税金負債	4,657	4,657
退職給付引当金	1,685	1,647
役員退職慰労引当金	466	432
資産除去債務	5	5
その他	474	453
固定負債合計	20,175	19,799
負債合計	40,109	39,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	4,277
資本剰余金	1,153	2,002
利益剰余金	6,792	7,541
自己株式	△226	△147
株主資本合計	11,219	13,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251	513
繰延ヘッジ損益	90	81
土地再評価差額金	8,199	8,197
為替換算調整勘定	9	151
その他の包括利益累計額合計	8,550	8,943
少数株主持分	452	508
純資産合計	20,222	23,126
負債純資産合計	60,331	62,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	28,463	30,668
売上原価	21,193	23,441
売上総利益	7,269	7,226
販売費及び一般管理費	5,765	5,875
営業利益	1,503	1,351
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	40	64
為替差益	—	42
持分法による投資利益	274	230
その他	42	77
営業外収益合計	361	419
営業外費用		
支払利息	380	291
手形売却損	25	25
株式交付費	—	14
為替差損	25	—
その他	95	50
営業外費用合計	526	382
経常利益	1,338	1,388
特別利益		
固定資産売却益	1,714	0
投資有価証券売却益	0	116
工場誘致奨励金	65	—
特別利益合計	1,779	116
特別損失		
固定資産除却損	19	3
固定資産売却損	59	0
投資有価証券売却損	1	—
投資損失引当金繰入額	13	—
災害による損失	20	—
子会社整理損	—	5
その他	0	—
特別損失合計	113	9
税金等調整前四半期純利益	3,004	1,495
法人税、住民税及び事業税	822	535
法人税等調整額	336	32
法人税等合計	1,158	568
少数株主損益調整前四半期純利益	1,846	926
少数株主利益	35	58
四半期純利益	1,810	868

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,846	926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144	260
繰延ヘッジ損益	65	△9
為替換算調整勘定	△1	141
持分法適用会社に対する持分相当額	11	0
その他の包括利益合計	220	393
四半期包括利益	2,066	1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,016	1,261
少数株主に係る四半期包括利益	50	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月24日付で、公募による増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ777百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が4,277百万円、資本剰余金が2,002百万円となっております。

(重要な後発事象)

重要な新株の発行について

当社は、平成25年12月6日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当による新株式発行を行うことを決議いたしました。

なお、この第三者割当による新株式発行については、平成26年1月21日に全額の払込を受けております。

第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当）

① 発行した株式の種類及び数	普通株式	345,000 株
② 払込金額	1株につき	740.01 円
③ 払込金額の総額		255,303,450 円
④ 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額	127,651,725 円
	増加した資本準備金の額	127,651,725 円
⑤ 割当先及び割当株式数	みずほ証券株式会社	345,000 株
⑥ 払込期日		平成26年1月21日
⑦ 資金の用途		

平成27年3月までに富士宮工場のコラーゲン・ケーシング製造設備への投資の一部に全額を充当する予定であります。

なお、富士宮工場のコラーゲン・ケーシング製造設備の設置の着手時期につきましては、平成26年4月を予定しており、具体的な充当時期までの間、上記金額は銀行口座にて管理する予定であります。